|  |
| --- |
| ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられる。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はない。 |

第〇学年情報科　学習指導案

【情報科学習指導案様式】　単元の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインする。

指導者　　＊＊　＊＊

１　使用教材　　教科書　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　　　　　　　　教　材　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

２　単元名　　　＊＊＊＊＊＊

「知識及び技能｣､「思考力、判断力、表現力等｣､「学びに向かう力、人間性等」の３つの資質・能力ごとに分けて設定する。

詳細は､｢『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料｣(国立教育政策研究所）を参照。<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_jouhou.pdf>

３　本単元の目標

　(1）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　　　（知識及び技能）

　(2）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（思考力、判断力、表現力等）

　(3）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　　　（学びに向かう力、人間性等）

本単元の目標を基に、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に作成する。（生徒の実態をよく捉えて、評価規準を設定すること｡)

詳細は､｢『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料｣(国立教育政策研究所）を参照。<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_jouhou.pdf>

４　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  本単元のねらいや他学年での履修内容との関連を入れるなど、単元（題材）構想の意図について、記述する。その際、「[高等学校学習指導要領解説情報編](https://www.mext.go.jp/content/1407073_11_1_2.pdf)」（文部科学省）を参考にする。  ※ここでの記述が、本時の「学習内容・学習活動」につながる。 | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ |

５　単元について

　(1）教材観

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本単元につながるこれまでの学び、小テストや実力テストの結果や実習、資格試験などの実態調査（できるだけ数値化したもの）から、本単元における生徒の身に付けたい資質・能力などを記述する。

※ここでの記述が、本時の「予測される生徒の反応」につながる。

　(2）生徒観

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

生徒観に書かれた課題を受け、単元（題材）のねらいに迫るための指導上の手立てを記述する。カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れていけると、なおよい。「○○○において（場面）、○○○す

ることにより（具体的な手立て）、○○○ようにする（めざす方向）」のように、記述する。

※ここでの記述が、本時の「評価及び評価方法」における指導上の手立てにつながる。

　(3）指導観

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

６　単元の指導計画（５時間扱い）　○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容・活動 | 知技 | 思 | 態 | 評価及び評価方法等 |
| １ | １  ２ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる**主な活動**を入れる。**（※１）**  観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく単元や題材など**内容や時間のまとまりごと**に、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、評価する場面を精選することが重要。  まとめと振り返りは違うので注意。  まとめ（結論） | ○ |  | ○ | 知：～している。  　　　　※（◎記録に残す評価場面までにこの段階では何を理解しているとよいのか）について見取り、理解していない生徒には（理解できる様にするための手立て）を講じる｡  　　　　　　【ワークシート、観察】  態：～しようとしている。  　　　　※（学習活動に）向かっていない生徒を見取り、(活動に向かうための手立て）などの指導を行う。　　【観察】 |
| ２ | ３ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ（結論） | | 〇 |  |  | 知：～している。  ○指導に生かす評価場面は、単元（題材）の評価規準を（１時間ごとや）まとまりに落とし込み、何について見取るのかを具体で表すと共に、Ｃと判断される生徒についての手立てを示す。  【ワークシート、行動観察】  本時は強調して詳しく記述します。**（※２）** |
| ４  本時 | 目標：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  １　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | 問題（課題） |   ２　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ３　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  「教材観」に基づいて、本時の目標を達成するための学習内容や学習活動を記述する。「課題提示」「発問」「学習形態」など具体的に記すとよい。  正対する。  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ４　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ（結論） |   ５　＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | 矢印の関係性・整合性を意識すること。  ◎  まとめ（結論）が評価に結びつくようにする。 | ○ | 目標（その時間に育成する資質・能力）を達成するための学習課題を設定する。 | 思：～している。  　　　　※（◎記録に残す評価場面までに、この段階では思考・判断・表現しているとよいのか）について見取り、できていない生徒には（できるようにするための手立て）を講じる｡  　　　　　　　　　【ワークシート】  知：～している。  【ワークシート、小テスト】 |
| ３ | ５ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ（結論）  振り返り | | 単元の最後なので、本時のまとめとともに、単元を通して何を学んだか、生徒が振り返られる時間を設ける。 | ◎ | ◎ | 思：～している。【ワークシート】  態：～しようとしている。  【ワークシート、活動の様子】 |

**※１**　指導計画は、単元のまとまりを見通し作成する。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間に育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れる。

**※２**　授業公開等を行う場合は、内容や活動を詳しく示すとともに、評価及び評価方法等の欄に、配慮事項等を加えるなど、参観者に本時の学習の流れが分かるように工夫するとよい。